

平成 29 年度

地域生活支援ワーカー(地域福祉コーディネーター)

リーダー養成インストラクター研修会

開催要項

1. ねらい

- ① 社協は、深刻な生活課題や社会的孤立への対応をめざす「社協・生活支援活動強化方針」の具体化にむけて、平成 27 年度より施行の生活困窮者自立支援事業や介護保険制度の見直しによる新たな総合事業を進めてきた。一方、厚生労働省による新福祉ビジョン、「我が事・丸ごと地域共生社会実現本部」創設など、地域共生社会実現の議論も活発化している。そのなかで、住民との協働による福祉・生活課題への気づきやケースの発見を通して、地域に根ざした支援を構想し、個別支援と地域支援とを統合する力量を高めることが急務である。本研修は、全社協がこれまで実施してきた「地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）・リーダー研修会」の受講者を対象として、各地域のワーカーたちの力量の向上にむけた学びの機会づくりに取り組んでいるのかを共有し、諸課題(事例)への接近方法やアドバイスができるようスキルアップすることを目的に実施する。
- ② 本研修受講後に、各地域の地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）・リーダーを支援する素養を身につけ、学びの場のインストラクターとして主体的かつ継続的に活動できる人材養成を行うことを目指している。

2. 主催 同志社大学社会福祉教育・研究支援センター
滋賀の縁創造実践センター
上野谷科研（課題番号 15H03439）

3. 運営協力 社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会

4. 日程 平成 29 年 7 月 28 日（金）11 時～7 月 29 日（土）15 時

5. 会場 同志社大学新町キャンパス溪水館 1 階会議室

6. 対象

- ①平成 25・26・27・28 年度全社協主催「地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）・リーダー研修会受講経験者、あるいは、受講経験者とチームで活動している行政職員等
 - ②滋賀の縁創造実践センター主催研修受講経験者
 - ③本研修の受講を希望し、同志社大学社会福祉教育研究支援センターが推薦する者
- 注：なお、第一・二回（平成 27・28 年度）本インストラクター研修受講者の再受講は可能です。同一職場・部署等から複数で申し込むことは可能ですが、その際は職場内で調整相談等をお願いいたします。

7. 定員 30 名（先着順 / 定員になり次第、締切とさせていただきます）

8. 参加費 10,000 円

※1 日目の昼食と夕食はこちらで準備します。

※参加費は研修当日に研修会場にてお支払ください

9. 事前・事後課題

- ①受講者全員に、事前課題・事後課題があります。
- ②事前課題の詳細は、受付確認メールにてお知らせします。事後課題は会場にてご案内します。

10. 内容

【1日目/7月28日(金)】

会場：溪水館1階会議室・バザール・カフェ(演習Ⅳ)

11:00-11:10	開会・挨拶・オリエンテーション
11:10-12:10	オープニングセッション 講義1「地域包括支援体制づくりとソーシャルワーク」(60分) 講師：同志社大学社会学部 教授 上野谷加代子氏
12:10-13:10	ランチョン・セミナー 休憩(60分)
13:10-17:30	演習「あなたのニーズは何だろうーそこから始まる2日間」 講師：同志社大学社会学部 准教授 野村裕美氏 演習Ⅰ：「私のポジショニング」(90分) エンパシーサークルという方法を用いて、参加者同士が出会い、お互いのこれまでの取り組みを共有し、互いを知る時間をまずはゆっくり共有します。 演習Ⅱ：「地域における私の実践事例」(120分) 参加者が事前課題として作成したケースをもとにケースメソッド討議を行います。討議を進めながら、地域の最前線で実践するリーダーたちの直面している課題とは何かを考え、その困難に直面しているリーダーたちを支えるインストラクターにはどのような力が求められるのか、本研修で目指すインストラクター像について参加者とともに焦点を絞っていきます。 演習Ⅲ：「ドラマ『サイレントプア』の生まれた町はどう作られたか？」(30分) ストーリーテラー：豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏 豊中市社会福祉協議会の勝部麗子さんのストーリーテリングに耳を傾けるひと時を持ちます。社協という場に身をおいてきたからこそ直面したさまざまな事柄や湧いてきた思い、エピソードなどを、演習の最後に聞かせていただきます。参加者が肌で感じ、そこから自分たちが取り入れるものはないだろうか、探索の時間を過ごします。
※途中 コーヒーブレイク(20分間)あり	
18:00-19:30	演習Ⅳ：本日のリフレクション(研修です) 研修会場を会場近くのカフェ(※)に移動し、講師陣(上野谷、勝部、野村)も参加し、グループでのリフレクションと交流の場を設けます。
19:30	1日目終了

※：バザール・カフェ(演習Ⅳ会場：京都市上京区烏丸今出川上ル岡松町258)

日本基督教団京都教区が中心となり、1998年に設立されたカフェ。HIV/AIDS関連団体、滞日外国人支援団体、キリスト教、キリスト教の牧師・宣教師、芸術家、教員など、さまざまな活動に携わる人たちが活動分野や立場を超えて、人として自然に出会い「ともに生きる」ことのできる場を創出するという夢を描いて生まれました。同志社大学の元宣教師館でもあり、現在社会学部社会福祉学科の実習科目のフィールドともなっています。

【2日目/ 7月29日(土)】

9:00-9:10	事務局連絡
9:10-10:40	講義2 「地域住民と協働するコミュニティソーシャルワーカーの位置づけと役割」 (90分) 講師：豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏 制度の狭間の福祉・生活課題に向き合い、地域づくりに取り組む豊中市社協のCSWとしての実践から、今後各地で取り組みが広がっていくには、どのような役割がCSWに求められるのか、必要な視点や関係者との協働など具体的なアドバイスをいただきます。
10:40-10:50	休憩 (10分)
10:50-11:50	演習V：「主体的に継続的に活動するには <私の場合>」 ファシリテーター：同志社大学社会学部 准教授 野村裕美氏 コメンテーター：同志社大学社会学部 教授 上野谷加代子氏 豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏 参加者でチームを作り、プロアクションカフェの手法を用いてフィードバックを重ね、私が目指したいインストラクター像を作っていきます。
11:50-12:50	昼休憩 (60分) ※2日目昼食は各自でお願いします
12:50-15:00	演習VI：「新しい取り組み、明日から何ができるだろう」 ファシリテーター：同志社大学社会学部 准教授 野村裕美氏 コメンテーター：同志社大学社会学部 教授 上野谷加代子氏 豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏 参加者の方の中から、手上げ方式で<私の取り組み>をプレゼンテーションしていただきます。日頃地域の仲間とどのような場づくりをしているのか、組織の内外においてどのようなまとまりづくりをしかけようとしているのかなど、15分の持ち時間で発表し、15分のフィードバックタイムを設けて順番に取り組みます。いくつもの取り組みをききながら、自分でもやってみたくなるヒントをたくさん選び取り、持ち帰っていただく時間です。演習の最後に、2日間にわたる研修のふりかえりを行います。
15:00	全日程終了

11. 参加の申込みにあたって

①申込み用メールアドレス宛に参加をお申込みください。折り返し事務局より受付確認のメールを送信いたします。

◎申込み用アドレス⇒ stefanoyu@hotmail.com

(同志社大学 上野谷研究室 南助教 宛)

◎申込みメール記載事項⇒1氏名(ふりがな)、2所属名、3職種・役職、4全社協主催の研修会受講の場合は、受講年度(25年度・26年度・27年度・28年度)を明記してください。その他の条件で受講を希望される方はその旨記載ください。5 二日目演習IVプレゼンテーション立候補する場合は、5に立候補と記載ください。

② 2日目昼食は、事務局ではご用意いたしません。各自でご用意・ご調達ください。

③ 宿泊先の手配は事務局ではいたしません。必要な場合は各自でご手配ください。

12. 申込み締切 平成 29 年 7 月 18 日 (火)

[定員になり次第、締切とさせていただきます]

※事前課題の締め切りも 7 月 18 (火) です。

13. 個人情報の取り扱い

本研修につきましては、個人情報保護における取扱を十分に考慮し、参加申込書に記載された個人情報は運営管理の目的のみ利用させていただきます。なお、本研修会の資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。

14. 本研修に関するお問い合わせ

◎同志社大学社会福祉教育・研究支援センター

上野谷研究室 担当：南

電話 075-251-3399 メール：stefanoyu@hotmail.com

◎全国社会福祉協議会地域福祉部 担当：桑原、平井

電話 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858 メール：z-chiiki@shakyo.or.jp

15. 会場のご案内

同志社大学新町キャンパス溪水館 1 階会議室

〒602-0047 京都市上京区新町今出川上ル



同志社大学

新町キャンパス溪水館 はここです！！

 バス停留所  地下鉄出入口